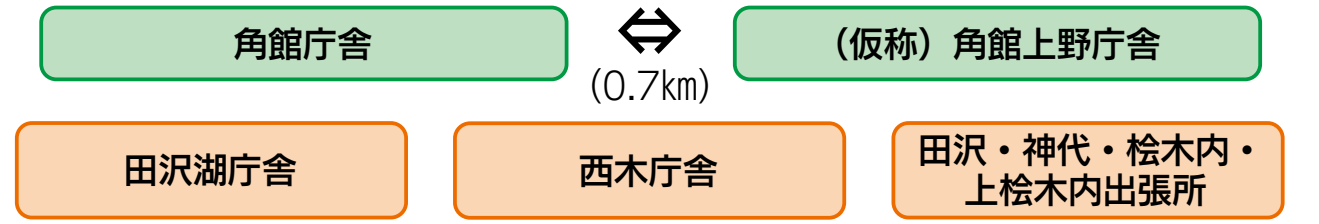


【移転・集約後の庁舎イメージ】



※田沢湖・西木両庁舎は、市役所の部門として市民センター業務のみになることから、前回の説明では庁舎ではなく出張所になると説明しましたが、他市の実例などを参考に**現行のまま名称を庁舎**とします。

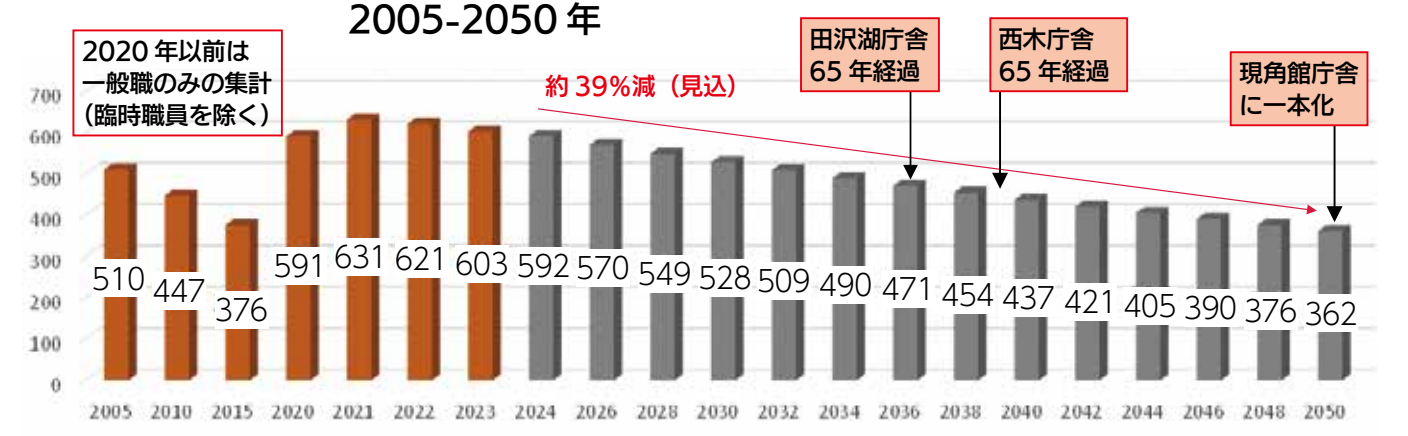
第2回 次の世代に向けた庁舎機能の移転・集約に関する住民説明会を開催しました

仙北市は、次の世代に向けた庁舎機能の移転・集約を提案し、第2回目となる住民説明会を市内3か所で開催しました。広報せんぼく 375号（令和5年12月号）から変更になった点、詳細な説明は次のとおりです。

【移転集約によるメリット・予想される変化】

田沢湖生保内地区は、仙北市第2の人口密集地であり、市唯一の市民会館、田沢湖病院を核に人口減少社会に対応した新たなまちづくりが必要で、市役所機能と公民館の機能合体や病院健康増進センターの活用などを具体的に検討します。西木地区については、コンパクトかつ機能的な複合拠点を検討します。田沢湖市民センターに総合防災課分室を併設し、災害時の初期対応強化を担保します。

【普通会計一般職+会計年度任用職員の推移と予測(人)】



【概算事業費・年度別支出額】

▶移転・集約した場合

概算事業費	19億9,000万円
うち市債	18億9,900万円
うち市負担	9,100万円
市債償還利子	6,300万円
支出総額	20億5,300万円

	合計	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21
支出総額	2,053	90	2	4	4	4	22	90	90	90	90	90	90	90	90	71
うち交付税	1,373	0	2	3	3	3	16	62	62	62	62	62	62	62	62	50
うち市負担	680	90	0	1	1	1	6	28	28	28	28	28	28	28	28	21

	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32	R33	R34	R35	R36	R37
支出総額	71	71	71	71	71	71	71	71	71	71	71	71	71	71	71	71
うち交付税	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
うち市負担	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21

▶移転・集約しない場合

概算事業費	9億9,000万円
うち市債	9億1,200万円
うち市負担	7,800万円
市債償還利子	1,600万円
支出総額	10億600万円

※ただし、田沢湖、西木両庁舎を使い続けるための+α（大規模修繕など）については、正確な予測が困難なため含んでいない。

→ 使い続ける場合、田沢湖庁舎60年経過の令和13年、西木庁舎60年経過の令和16年に数億円～十数億円規模の長寿命化工事が必要。

	合計	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21
支出総額	1,006	14	64	2	2	74	82	93	93	93	93	93	93	21	21	12
うち交付税	241	0	0	1	1	1	8	13	13	13	13	13	13	13	13	9
うち市負担	765	14	64	1	1	73	74	80	80	80	80	80	80	8	8	3

	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32	R33	R34
支出総額	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
うち交付税	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
うち市負担	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

問合せ：仙北市企画部 企画政策課 ☎ 43-1112 FAX 43-1300
仙北市総務部 管財課 ☎ 43-1114 FAX 43-1300
仙北市代表メール：semboku@city.semboku.akita.jp



次の世代に向けた庁舎機能の移転・集約に関する第2回住民説明会を1月16日に田沢湖総合開発センター（32人参加）で、17日に市役所角館庁舎（26人参加）、19日に西木総合開発センター（15人参加）で開催し、次のような質問や意見が出されました。

田沢湖会場の意見・質問要約

質1 メリットだけを説明しているがデメリットは。
 答1 田沢湖地区の住民が、今後市民生活を営むうえで影響があると思われるのは、国土調査事務の閲覧、空き家の相談、納税相談だが、田沢湖市民センターで対応できるように検討する。本庁舎が田沢湖からなくなることで寂しいという気持ちの面でデメリットがあると感じている。

質2 石川県の災害もかなり大きいですが、東日本の災害時も柱となる部分を分けたほうがよいという話が出たはずで、仙北市は3庁舎がありすくなくいい状態だった。水害時は、田沢湖・角館間の距離を問題にしているが、体制の弱さが引き金となっていると思う。あれを十分に活用し、情報収集し、それを集約する部署が住民に情報提供できるように十分検討し、進めてほしい。

質3 田沢湖庁舎に総合防災課の分室を設け、市民に不安を与えないよう努める。

質3 職員の人数について、人口減少で将来角館庁舎に職員も集約できるのではないかと。急いで病院管理棟を改修することは、経費ばかりかかると思う。

質4 国への協議はまだしていないため確約は得ていない。計画が進んだ際には、県を通じて協議を行い、同意を得た後に借入した合併特例債の7割分が地方交付税として財政支援措置を受けることになる。

質5 市長は、なぜ田沢湖庁舎にいないければいけないのか。
 答5 田沢湖庁舎に市長室を設けたことについては、角館庁舎、上野庁舎にずっといるわけではなく、田沢湖に来た際の執務室として準備するもの。現在西木庁舎にも市長室がある。

質6 大雨、地震、駒ヶ岳の噴火など災害時どこに行けばいいのかわからない。旧角館総合病院は、壊れて景観も悪く危険が伴うというが、そちらの危険よりも災害時避難所が寒いところに寝泊りする高齢者がもっと危険でないか。安心して住民が暮らせるよう、災害時の市民への対応に期待しているが、この事業は方向が違っているのではないか。

質7 7月豪雨では、暑さ対策だけで

寒さ対策など多々至らない点があり申し訳ない。噴火も含め災害には、市内で自主防災組織が30数団体結成されており、市も一緒に訓練し、避難所は数年前にハザードマップを改訂し配布している。2次避難所として田沢湖地区は宿泊施設との協定も結んでい

質7 生命線である神代から刺巻、生保内までの国道46号がなくなると田沢湖を回るしかない。将来的なことを計画せず、庁舎を建ててから対応するのは、納得できない。

質8 仙北市には、旧角館総合病院だけでなく、廃校になった施設など多くあるが、アスベストの問題はないのか。そのような調査は、していないのか。

質9 水道事業について、漏水対策をせずに庁舎建設をするのは、おかしいのではないかと。水道事業では、毎年15億円赤字となっている。一番大事な水やインフラを適正にやることの方が大事であり順番が逆でないのか。

質9 水については、大変危機感を持っており、県内でも仙北市は漏水率が高

いこともあり未普及地域解消事業より老朽管の配管工事更新を優先する。広範囲の老朽管の配管更新は、膨大な予算が必要となりなかなか難しいが、できる限りスピード感を持って取り組んでまいりたい。同様に庁舎事業についても危機感を持って提案している。水道事業の15億円の件については、令和3年度決算ベースで広報に掲載したものと違うが、上下水道の総事業費のうち5億円が使用料で残りの15億円は、地方債、補助金、残りは市からの持ち出しになる。令和3年度分の水道事業では、市からの持ち出しは約1・5億円となっている。

質10 議会、市民の納得のうえ事業が始まった後に人件費、資材などの高騰によりかなり増しになる可能性はないのか。かなり増しにならないよう覚悟をもってやるべきだ。

質11 水道事業にける来年の予算措置について、計画的に、何年計画で来年度にはどれぐらいの措置をしたのか。答11 新年度予算に向けて今協議を進めているところで、具体的な金額、年数というのはこれからお示しする。

質12 概算事業費は、専門業者が積算しているのか。30億円くらいかかるのではないか。

角館会場の意見・質問要約

質23 新聞報道で田沢湖と西木が出張所から庁舎になるとあったが、出張所との違いは何か。また人数体制が変わらないとのことだが、何人なのか。

質24 箱物が増えることによる光熱水費の増加は大変な出費になると思うが、こういう根拠の維持管理費の数値なのか。

質25 庁舎の名前がかわっただけで職

質26 現状の人数を維持していくのか増やすのかは、データなどを確認したうえで決めていく。

質27 「意見として受けとめる。」

質28 去年7月の災害時、角館と生保

質12 一級建築士の専門家により昨今の物価高騰も踏まえ意見聴取し、精査して定めた金額であり、物価高騰にも耐える予算であり事業費として30億円はないと考える。

質13 アスベストに関して、ことさら危険をおおっているが、当時の担当の話ではほとんど影響はないということと現在と乖離があると思った。

質14 危機管理監が課長レベルで、いざとなったときに部長クラスを動かすことができるのか疑問である。

質15 仙北市は、合併時から分庁舎方式でスタートし、これが望ましいと思う。田沢湖、角館、西木をそれぞれ移動することにより交流が生まれ、今のまま使用すれば上野庁舎もいらぬし、経費もかからず済むのではないか。

質16 あまり借金をしないで公債を減らし、次世代に渡す方が、借金のないところで構想を練るのではないか。

質17 本庁舎という名前があれば、市の職員がいて安心感があった。別に本庁舎は、どこでもよい。でも田沢湖に何かあったときに頼れる職員を置いてほしい。

質18 田沢湖総合開発センターのトイレがほとんど使用できなく、排水管も昔の鉄を使用しているので詰まって流れない。まだ使用させてもらえないなら、家も近いので利用したい。

質19 650万円の経費削減の額は何年分か、また算定根拠を示してほしい。

質20 移住定住を進めているようだが目標の人数は何人か。

質21 現状も広域で火葬場、ごみ処理、下水道処理など共同で行っている。他の自治体と合併しなければ維持できない故郷ではなくて、仙北市であるべきと思うので市民が住み続けられる暮らしと地域作りを何とか進めていきたい。

質22 人口が減ってもここに住んでよかったと思えるようにしてほしい。たくさんの方が本気で考え、発言することのような場が必要。

質23 仙北市には、負の部分もあるが、素晴らしい魅力もたくさんあるので特性や魅力を発信しながらここで生まれ育ったことを誇りに思い住み続けてもらえる街づくりを推進する。

質24 災害発生時、通常時の対応力を強化するという目的の記載があるが生保内、角館の間の去年の水害のときにすぐ不都合が生じたというのはどんな不都合だったのか。むしろ避難してきた市民が座布団二枚で朝まで過ごしたことを不都合だったのではないか。

質25 7月の大雨の避難所運営については、備蓄品の支援など大変不便おかけし申し訳ない。避難所へは、昨年度から消防団なども配置し利用者心配や不安を与えないよう考えている。不都合については、災害対策本部要員の司令塔となる方々が分散され、安否確認もままならず、非常に危険が伴うということが7月にあった。

質26 ここは高齢者の地域で生保内や田沢は、噴火もあり得る。素人ではわからないので各地に行政の人がいればと思うが、角館庁舎に機関において連絡を迅速にしたいというのは、矛盾を感じる。

質27 人数はまだ決まっていなくても、庁舎に人がいなくなることはないで、「理解いただきたい。」

質28 病院にアスベスト問題があると言われているが何年も放置しておくほど危険性はないということか。たまたま合併特例債があるからついでに病院

次世代の方にその時点で庁舎の判断をしてもらいたらどうか。

質16 次世代が判断する際に、その財源も生み出さねばならないが、現状で移転集約などを行い、負担を軽くし、次世代に負担を残さないようにしたい。次世代には、合併特例債など有利な起債はないと思われ。

質17 仙北市には、旧角館総合病院の解体のみならず、老朽化した公共施設がたくさんある。目を背けず使用しない施設は、解体し次の世代に負の遺産を極力少なくバトンを渡せるよう取り組んでいきたい。

質18 頼れる職員の配置については、非常に重く受け止めさせていただく。

質19 田沢湖総合開発センターのトイレがほとんど使用できなく、排水管も昔の鉄を使用しているのを詰まって流れない。まだ使用させてもらえないなら、家も近いので利用したい。

質20 650万円の経費削減の額は何年分か、また算定根拠を示してほしい。

質21 市長をはじめ、司令塔の分散は危機管理上好ましくない。分庁舎方式でも職員が各庁舎において初動が早まるなど利点はあるが、孤立すれば分庁舎の機能、人の行き来もできない。昨年7月の大雨で課題も見えたので現在の統合庁舎の計画により体制を構築したい。

質22 合併特例債は借金なのか。返済できる目処があるのか。目処があり、今回の移転で我々の生活が良くなるのであれば、名称や場所はどちらでもよい。

質23 借金ということに変わりない。ただし借り入れた金額の70%が国から財政支援を受けられる。返済の目処については、返済のピークが今年度となっており、今回の移転・集約に係る返済額が最も大きくなる令和13年度には現在の約21億円から約17億円と約4億円減少する見込みとなっている。また今後は、返済金額より借入する金額が少なくなっており20億円返済し10億円借りるというような見込みとなっている。

質24 移転集約してから我々市民の生活は、苦しくなるわけではないという認識でよいか。

質25 移転集約しない場合は、した場合との比較で借金返済の差額が年間5000万円多い年度もあり、単年度でそれだけの財源を用意すると

質26 移転集約しない場合は、した場合との比較で借金返済の差額が年間5000万円多い年度もあり、単年度でそれだけの財源を用意すると

それと移動に伴う時間外手当の削減で約650万円となる。

質20 移住定住を進めているようだが目標の人数は何人か。

質21 現状も広域で火葬場、ごみ処理、下水道処理など共同で行っている。他の自治体と合併しなければ維持できない故郷ではなくて、仙北市であるべきと思うので市民が住み続けられる暮らしと地域作りを何とか進めていきたい。

質22 人口が減ってもここに住んでよかったと思えるようにしてほしい。たくさんの方が本気で考え、発言することのような場が必要。

質23 仙北市には、負の部分もあるが、素晴らしい魅力もたくさんあるので特性や魅力を発信しながらここで生まれ育ったことを誇りに思い住み続けてもらえる街づくりを推進する。

質24 災害発生時、通常時の対応力を強化するという目的の記載があるが生保内、角館の間の去年の水害のときにすぐ不都合が生じたというのはどんな不都合だったのか。むしろ避難してきた市民が座布団二枚で朝まで過ごしたことを不都合だったのではないか。

質25 7月の大雨の避難所運営については、備蓄品の支援など大変不便おかけし申し訳ない。避難所へは、昨年度から消防団なども配置し利用者心配や不安を与えないよう考えている。不都合については、災害対策本部要員の司令塔となる方々が分散され、安否確認もままならず、非常に危険が伴うということが7月にあった。

質26 ここは高齢者の地域で生保内や田沢は、噴火もあり得る。素人ではわからないので各地に行政の人がいればと思うが、角館庁舎に機関において連絡を迅速にしたいというのは、矛盾を感じる。

質27 人数はまだ決まっていなくても、庁舎に人がいなくなることはないで、「理解いただきたい。」

質28 病院にアスベスト問題があると言われているが何年も放置しておくほど危険性はないということか。たまたま合併特例債があるからついでに病院

質29 合併特例債は借金なのか。返済できる目処があるのか。目処があり、今回の移転で我々の生活が良くなるのであれば、名称や場所はどちらでもよい。

も解体した方が得だと聞こえるが、ア
 スベストはどれくらい危険なのか。
答33 旧角館総合病院の病院棟のボイ
 ラー室と階段の下に一番危険とされて
 いる吹付けアスベストが残っている。
 令和4年4月1日にアスベストに関係
 する石綿法（法律）が改正され外壁も
 新たに調査しなければならぬと考え
 ている。病院の解体は、アスベストが
 危険だから事業を行うことが主眼では
 なく、全体の視点から築50年を超えて
 いる田沢湖、西木庁舎の使い方を65年
 まで使用しその先は次世代に負担を残
 さないよう整理移転集約をする。

質34 残業時間の減少などにより年
 間約650万円、通勤手当で年間約
 300万円の削減が予想されると資料
 があるが、数字のパーセンテージを教
 えてほしい。

答34 時間外手当が5870万円のう
 ち370万円、通勤手当が4640万
 円のうち300万円となっており、そ
 れぞれ約6〜7%となる。

質35 合併し3庁舎でのこれまで市民
 サービスは、とてもよかったと思っ
 ている。それが継続できる状態ではな
 いと思うので、地域の事情や意見を踏ま
 えて、20年後、30年後ではなく本当に
 先の40年後、50年後を考えると移転集約
 をやっていたら良かった。

（意見のみ頂戴したもの）

質36 生保内の庁舎機能を縮小するこ
 とにより活性化がされなくなるのでは
 ないか。田沢湖、角館地区の市民の数

質48 この計画は、出来レースでシナ
 リオ通りに進めて市民に納得させるよ
 う計算された追い込み方をしていると
 感じる。

答48 出来レースでやっているわけ
 はない。

質49 仙北市DX推進計画では、ディ
 タル技術で市民サービスの維持、向上
 と記載されているが、庁舎を移転し集
 約することのメリットは、どの位置づ
 けになっているのか。

答49 市民サービスのツールとして、
 窓口になくてもできるようなサービ
 スのDX化の構築を考えている。

質50 相談窓口もA Iの利用や技術的
 進歩などで働き方が変化している。仕
 事内容に応じて働く場所を選べば庁
 舎の移転機能とか執務のための広い面
 積は必要なくなる。仕事の仕方を早く
 変える方が効果的ではないか。

答50 そのような意識をもってリモ
 ー ト会議など実施しているが、まだ流れ
 になかなかついて行けていない部分も
 ある。

質51 今までと仕事の仕方が大幅に変
 わるため職員の育成、採用などにもつ
 と真剣に取り組んでほしい。通信手段
 も発達し、離れていても情報が取れ、
 意思の交換もできる。今までの固定観
 念から脱却した新しい取り組みをし、
 デジタルなどの有効な機能をつまぐ使
 い、アイデアを出し合えば、箱物にお
 金をかけずに対応できるのではないか。

答51 そのようにできれば一番いいと

の差はそれほどないのに角館に庁舎が
 移転し、大きい庁舎が角館に2つにな
 ることは、バランスが悪く感情論とし
 てすぐくしこりが残るのではないか。

質37 仙北市が合併した時は3万
 人ちょっと始まり、今後7年後に
 1万8000人程度になるということ
 は、いつまで市としていられるのか。

答37 このふるさと仙北市をこれから
 もずっと残していきたいとの思いでこ
 の計画を提案している。

質38 資料に数字がいろいろ出ている
 が、グラフで収入、支出など今こうなっ
 ているから、こうなるんだと出してほ
 しい。資料が言葉だけだとわからない。

答38 グラフなどでわかりやすく表現
 する。

質39 資料にメリットとあるが、デメ
 リットを教えてください。

答39 田沢湖の市民の方が生活するう
 えで大きなデメリットというのはない
 と考えている。国土調査業務の閲覧、
 空き家の相談、納税相談などが今まで
 田沢湖庁舎のみであったが、市民セン
 ターの拡充により足を運ばなくてもい
 うように計画を立てている。

質40 何回もこの庁舎の問題について

思っている。

質52 人口減少に少しでも歯止めをか
 ける政策ができないものか。生まれる
 子どもたちをなんとか増やせないか。

答52 サテライトオフィス事業など
 数々の誘致事業のほか、移住定住、
 空き家対策としてワンストップセン
 ター、体験ハウスの設置など来年度は、
 移住に力を入れてまいりたい。

質53 病院の解体は今一番大きな問題
 であり、どんな解体すべきである。

答53 平成27年から市は一貫して病院
 の解体をする方向で進めてきたが、今
 に至っている。有利な起債を活用して
 解体していきたい。

質54 今のまま、地域に拠点がある形
 を残してほしい。新たな借金をして本庁
 舎を建てるのは待った方がいいのではな
 いか。今の市民の要求を一つずつ解決し
 ていくような取り組みをしてほしい。

答54 移転集約をしない場合は、した
 場合に比べ、返済額が約5000万円
 増える年が数年続くことになり、市に
 として大変である。また拠点として建
 屋をすべて残すことは厳しいと考え、
 将来の人口減少に合わせた形で庁舎を
 集約してまいりたい。

質55 旧角館総合病院の解体はこれま
 で議論されてきたが、合併特例債、過
 疎債など有利な方法であればやってよ
 いと思う。限界集落も増えると思うが
 切り捨てないでもらいたい。

答55 人口減少のペースが速い地区も

は議論されてきて、いろいろ市民から
 反対の意見もあると思うが、市がこれ
 でいいという心構えをしっかりとしてい
 たらいい。

答40 議会そして市当局が決断をし
 て、今仙北市が19年目を迎えている。
 仙北市のこれからの将来を考えたとき
 に本当に厳しい状況にあると予測され
 る。私は市長として今回提案し、不退
 転の決意で実現に、断固として努力し
 てまいる。これは仙北市の未来を開く
 選択だと思っている。

西木会場の意見・質問要約

質41 合併特例債も含めた公債費の全
 体の総額を示してほしい。

答41 借入れ後の残高ピークは、令
 和7年度移転集約を実施した場合総
 額220億円で返済のピークは今年度
 の21.7億円となっている。引き続き
 有利な地方債を借入れし、負担の軽
 減に努める。

質42 田沢湖・西木庁舎が出張所機能
 になることについてこれまでと同様に
 幅広い市民サービスを重視して人員配
 置などを考えているのか。これまで市
 民が分庁舎でいいと判断してきたもの
 が、財政的に無駄があり、デメリット
 が多いとかで規模の縮小を進めるのか。

答42 これまで通り、それぞれの窓口
 に対応できるように機能させることを
 最低条件とし人事配置を考える。

質43 人数の配置は同じなのに集約す
 る意味があるのか。

あり、公共交通、買い物に関しても自分
 の生まれ育ったところで暮らしていける
 ような政策のために、このような移転集
 約をして財源を捻出してまいりたい。

質56 角館庁舎に現在職員が200人
 ぐらいたることなので、出張所に対
 する職員の配置を考えれば、15年後に
 ほぼ全員角館庁舎に入ることが可能か。

答56 現状職員350人のうち今
 200人前後が角館庁舎にいて令和22
 年度の予想では会計年度任用職員も含
 めて出張所、給食センターなどを除き
 250人前後になる予定。200人程
 度であれば入るが250人だと厳しい。

質57 デジタル技術が日進月歩で発展し
 ている中で必ずしも250人全員が15年
 後に入る庁舎を作らないといけないのか。

答57 移転集約のポイントは築年数で、
 田沢湖庁舎51年・西木庁舎48年になる。
 65年間は、使い続けたいがその後に使
 用できなくなった場合の受け皿として
 上野庁舎を考えている。デジタル技術
 が革新的に進んでも人と人との関わり
 の仕事はなくならないと思うのでデジ
 タル技術だけでは不可能と考える。

質58 公債費の償還について、移転
 集約しない場合、短期間に7千万円、
 8千万円償還し後年度に数百万円の償
 還をしていくのと、移転集約した場合に
 コンスタントに毎年2千数百万円を償
 還していくのと、実際の人口に照らし合
 わせて市民の負担額はどの程度なのか。

答58 同じ2千万円でも、人口が減っ
 ていく後年度には、人口1人当たりで

答43 今後の配置人数は、防災などの
 関係もあり検討中である。

質44 集約後、財政的に借金の返済額
 のため市民サービスが不安になること
 は絶対にならないと言い切れるか。

答44 集約したほうが、返済額の市の
 負担が少なくなる。

質45 分庁舎方式としている自治体
 あるのに、なぜこの時期に角館に統合
 庁舎体制を取ろうとしているのか。

答45 仙北市はこれまで分庁舎でき
 ているが人口減少が止まらず、本庁舎が
 ある生保内地区でも店がどんどんな
 っている。この直面している財政的
 厳しさ、人口減少、少子高齢化は、ほ
 か自治体の比較にならない程厳しい
 状況である。過去の延長線上に仙北市
 の明るい未来はないという結論のもと
 今回提案している。

質46 総合防災課分室とあるが、本部
 は角館庁舎になるのか、職員は普段は
 何をやっているのか。

答46 分室に職員を常駐させるかどう
 か決めかねているが、市民センターの
 職員に兼務させることを想定している。

質47 議会に報告するところがあるが、報告
 した内容を教えてください。また、録
 音機器が設置されているが、議員の報
 告には、録音したものを聴かせたのか。

答47 全員協議会を開催いただき、広
 報に掲載する前に報告をしている。生
 の声ではなく、文字にして主だったと
 ころを説明している。

は負担が大きくなる。平準化して将来
 に向けて備えることが重要と考える。

質59 これまで田沢湖、西木庁舎にさ
 まざまな工事が入っていたがこの計画
 があるとなれば待つことはできなかつ
 たのか。今回の計画が唐突に出てきた
 ように思うし、新しい議場が本場に必
 要なのか。企業誘致もままならず税収
 が増える見込みも厳しい中で後世に借
 金を増やすのはいいかがなものか。こ
 のままではほかの自治体との合併もあ
 り得るのではないか。

答59 合併については、人口減少に歯
 止めがかからない状況が続くと現実味
 を帯びてくる。ふるさと仙北市を存続
 させたい思いで、負の遺産として増加
 し続けている老朽化した施設は大きな
 課題であり、今回の計画のうち4施設
 の解体が可能となり、大きな選択をし
 ている。今やるべきことをこれ以上先
 伸ばしにしてはいけないと強く決意し
 ている。

質60 行政を進めるうえで、市民がよ
 くわかるよう事前に説明し、計画・企
 画するようにして、トップダウン的な
 やり方は、やめてほしい。公務員は、
 災害などいざ事がある時に頼りにされ
 るから、公務員を減らさないでほしい。
 （意見のみ頂戴したもの）

質61 職員が仕事のやり方を変えるよ
 う真剣に取り組めば新しい建物を作ら
 なくても、対応可能ではないか。

答61 しっかり進化について行けるよう
 に職員のスキルアップを図っていき